Learning World Book 3 Unit 7-1 指導案

- ① 事前に旅行会社などから様々な交通機関を使った国内外の旅行のパンフレットをもらっておく。オーセンティックな教材を使うことで、より楽しく、より効果的に学習を進めることができる。
- ② 教師は自分が参加したい旅行のパンフレットを見せながら、行く場所・日時・交通手段・期間について話をする。この時、目標言語に無理矢理合わせて不自然な会話にならないように留意する。

例: I'm going to Kumejima on July 21st. I'm going there by airplane.
I'm going to stay at a hotel for three days. I want to dive with a snorkel all day long."







- ③ 机の上に集めた旅行パンフレットを並べ、子供達に参加したいツアーを選ばせる。子供達はパンフレットを見て、行く場所・日時・交通手段・期間などを決める。オプショナルツアーを選ばせると、そこでやりたいことについても発表させることができる。
- ④ 1人ずつ前に出て、参加したい旅行のパンフレットを見せながら、自分が行く場所・日時・交通手段・期間・ やりたいことなどについて発表する。質問の仕方や答え方は、その都度教師が教えながら進める。この段 階では、意味のあるコミュニケーションを通して目標言語をインプットすることが目的なので、最初から英語 が上手に言える必要はない。

T: Where are you going?
S1: To ...
T: When are you going?
S1: On ...
T: How are you going?
S1: By ...
T: How long are you going to stay?
S1: For ...



2人目からは全員で質問を言う。質問が上手く言えない時は、その都度数回ずつ練習しながら進める。何度 も質問することが文型練習の代わりになる。

T&Ss: Where are you going?

S2: To ...

T&Ss: When are you going?

S2: On ...

T&Ss: How are you going?

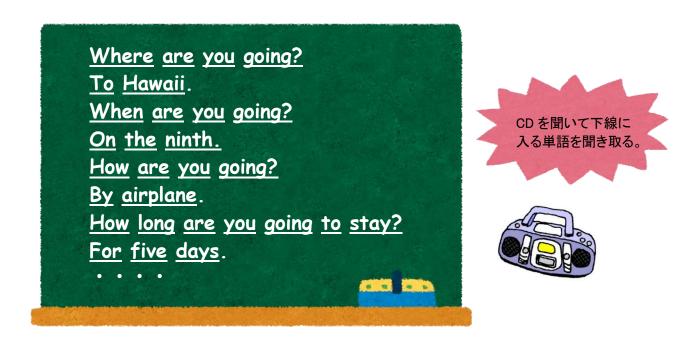
S2: By ...

T&Ss: How long are you going to stay?

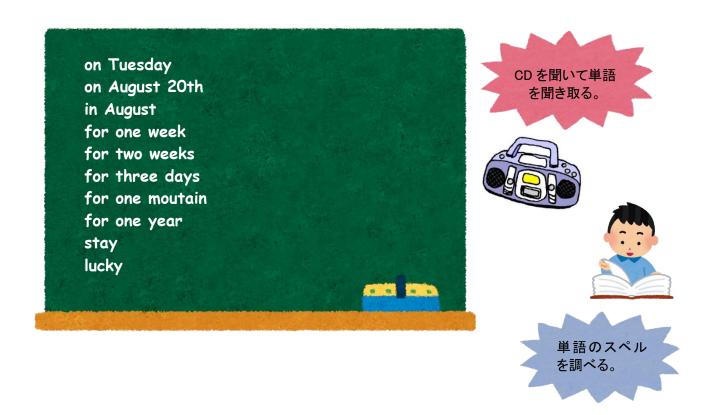
S2: For ...



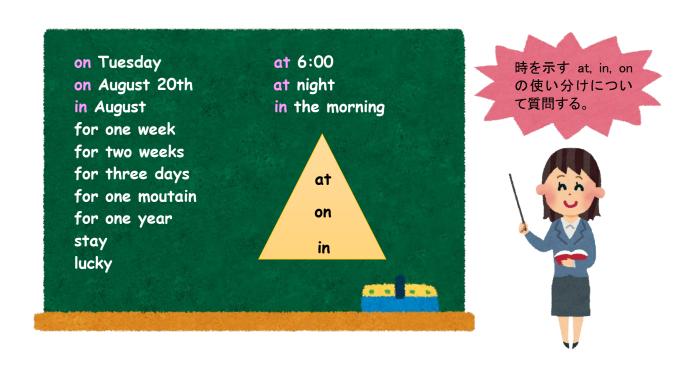
- ⑤ 黒板に単語の数だけ下線を引く。⇒CDでダイアログ(②#23)を流す。⇒下線に入る単語を聞き取らせる。 ⇒子供に単語を言わせて教師が書くか、子供に単語を書かせる。
 - ⇒意味を確認する。その都度文型練習をして、口慣らし(できれば暗記)をする。



⑥ CDでWORDS(CD②#20)を流す。⇒語句を聞き取らせ、スペルを言わせるか、黒板に書かせる。スペルが分からない時は辞書で調べて書く。



(7) 黒板に書いていある語句の前置詞に色を付け(ピンク色の部分)、前置詞についてQ&Aをする。



Q: August 20th の時は on なのに、August だけの時は in になってるね。時刻の時は at だったよね。 その3つはどういう風に使い分ければいいと思う?

A: ...。 ⇒辞書で at を引かせる。

- ・at は時刻などの「時の1点」を示す時に使う。
- ・in は1日のうちでの午前や午後、月や都市などの「一定の長さを持った期間」を示す時に使う。
- on は特定の日や曜日に使う。
- *at は night や time など特定の語と結びついて、「一定の時間の幅」を示すこともある。

時を示す at, in, on につい調べる。



- *子供は辞書に書いてあることを読み上げるだけで、正確に理解出来ている訳ではないが、辞書を引いて 用法を調べる癖を付けることが大事なので、子供を褒めながら辞書引きをさせる。中学校に入れば必ず学 習する事項なので、この段階では詳しく教える必要はないが、もし、理解が出来るようであれば、at, on, in に ついてより詳しく教えても良い(ピラミッドの上に行くほど、時間の幅が狭くなる)。
- ⑧ テキスト p.40 を開き、CDの後に続けてダイアログ(CD②#23)と語句(CD②#20)を読む。
- ⑨ テキスト p.41 を開き、オリジナルダイアログを作る。

- ① テキスト p.41 のオリジナルダイアログをチャレンジをする。
- ① チャレンジが終わったら、情報メモシートを使ったインタビューゲームなどをする。
- *クラスによって進むスピードが違うので、時間が足りなければ2時間以上かけて行う。
- * チャレンジは翌週以降も行う。

